

一度に最大 40 台まで対応

株式会社イー・エッチ・ティー（久喜市）

複数タブレットPCの急速充電及び同期が可能なUSBハブ試作開発

政府は、東京五輪・パラリンピックが開催される2020年までに、私立を含む小中学校にタブレット学習を普及させる方針を進めている。児童生徒1人あたり1台のタブレット端末を使える環境整備を目指すというわけだ。

教育現場へのタブレット導入が拡大する流れをにらみ、イー・エッチ・ティー社は2016年6月、一度に複数台のタブレットを急速充電・同期できるUSBハブ充電同期装置を開発・発売した。

充電のスピードは2.1アンペア急速充電対応、データを入力したり書き換えたりする同期の最大転送速度は480Mbps（USB2.0ハイスピードモード）。10口のUSBポートが付いており、1台で10台までのタブレットと接続可能だが、3台ま

でのハブをケーブルで接続できるカスケードポートを使えば最大40台のタブレットを同時に充電・同期できる。無線でなく有線を使うことによる充電の安定性もセールスポイントだ。

教育現場でタブレットを1台ずつパソコンと接続し充電



10口のUSBポートを備えたUSBハブ充電同期装置

したり同期したりする手間が省けるのはもちろん、不具合が生じにくく、熱にも強い設計や部品を採用したメンテナンスフリー、ファレンスの構造。営業技術部の甲能福満さんは「個人向けというより教育関係、法人関係をターゲットにしており、メンテナンスフリーであることをより意識して開発した」と語る。

パソコンのCPUボード開

発をメイン事業とし、主に官公庁や医療系、産業系企業と取引するイー・エッチ・ティー社で、USBハブが売り上げに占める割合は決して大きくない。ただメンテナンスフリーで安心できる製品を教育現場に提供できれば同分野での信頼獲得にも役立つはず、と期待している。

「株式会社イー・エッチ・ティー」

■本社 久喜市桜田5の23の4

■代表者 代表取締役 青柳明久

■設立 2008年8月

■資本金 1300万円

■従業員数 9人

■電話番号 0480(57)1480

「メモ」 X86系CPUボードの開発から量産までを設計するハードウェアベンダー。小ロットでも対応でき、国内生産・長期安定供給で高品質・高信頼の製品を提供する。